

輸出品目別レポート（タラ）

■品目説明

日本で流通するタラ類は、主にマダラ、スケトウダラ、メルルーサ（ヘイク）、ホキ、ミナミダラなどである。近年、日本への輸入が増加しているメルルーサは、品目分類上はヘイクに含まれる。日本の場合、タラ類は主として、冷凍すり身、ラウンド、ドレスおよびフィレの形で輸入されている。マダラは主に生鮮（一部塩蔵、塩干品がある）で流通し、切り身の形でもっぱら総菜に用いられる。そのほか、欧米ではタイセイヨウダラ（タラ cod と呼ばれる場合が多い）、コダラがよく食べられる。

スケトウダラは、ほとんどがすり身に加工され、練り製品の主原料となる。スケトウダラの一部はすり身、「マダラ」の干物である棒干しダラなどに加工されるほか、冬場にマダラと同様、鍋ものの具材として生鮮で流通する。メルルーサ、ホキ、ミナミダラなどはフィレ加工され、総菜として消費される。

なお、ファストフードのフィッシュバーガーの具材として、骨、皮、内臓などを除いた魚肉部分から一定の形に切り分けられ、粉をつけ、フライにして使用されている。英国では「フィッシュアンドチップス」の材料、韓国では生鮮で鍋の具材として消費されることも多い。

農林水産省「[令和 6 年漁業・養殖業生産統計](#)」（2025 年 5 月）によると、日本の海面漁業によるたら類の 2024 年の漁獲量は、マダラ 5 万 4,500 万トン（前年比同数）、スケトウダラ 12 万 3,600 トン（前年比 0.5%増）の計 17 万 8,100 トンであった。北海道が 16 万 3,600 トン（シェア 91.6%）、ほか青森、宮城、岩手などでも若干量の漁獲量がある。

業界団体として、[一般社団法人大日本水産会](#)などがあり、[水産物・水産加工品輸出拡大協議会](#)が積極的に日本産水産物のプロモーション活動や海外・国内における輸出商談への支援などを実施している。

なお、2023 年のタラ類は、米国、ロシア、ニュージーランドなどから 625 億円を輸入している。

■貿易概況

2023 年の日本のタラ類の輸出動向をみると、金額は前年比 103.5%増の 1,342 万ドル、数量は同 99.2%増の 5,677 トンであった。主要輸出国・地域の動向をみると、1 位（金額ベース）の中国は、金額が同 91.7%増の 1,003 万ドル、数量が 90.6%増の 4,412 トンであった。2 位のベトナムで同 323.8%増の 267 万ドル、数量で同 224%増の 904 トンと大幅増となった。上位 2 カ国合計で金額全体の 94.6%を占めた。そのほか、インドネシア、タイ、ナイジェリアと続いた。

なお、2024 年のタラ類の輸出は、11 億 4,800 万円（同 36.2%減）であった（出所：農林水産省「[令和 7 年（2024 年）農林水産物・食品の輸出額](#)」）。

▼表1：日本のタラ輸出

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	2,251,436	2,036	5,233,630	2,315	10,032,038	4,412	91.7	90.6
ベトナム	297,798	159	630,053	279	2,670,351	904	323.8	224.0
インドネシア	3,224	1	311,832	144	437,375	264	40.3	83.3
タイ	13,187	3	178,991	67	169,851	44	△ 5.1	△ 34.3
ナイジェリア	—	—	—	—	49,583	49	—	—
全世界	2,900,579	2,320	6,596,482	2,850	13,424,369	5,677	103.5	99.2

注：対象はHSコード 0302.51, 0302.54, 0302.56, 0303.63, 0303.66, 0303.68, 0303.69-900,
0304.71-100, 0304.74, 0304.79, 0304.95-100, 0304.95-900

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

■海外事情

●中国

2023 年、中国のタラ類の輸入額は、前年比 26.9%減の 6 億 3,273 万ドル、数量ベースでは 18.9%減の 18 万 6,335 トンとなった。主要相手国別・地域別にみると、1 位のロシアが前年比 27.5%減の 3 億 6,375 万ドル（シェア 57.4%）、数量が同 13.2%減の 9 万 7,644 トンであった。2 位の米国は同 28.5%増の 8,128 万ドル、数量が同 30.8%増の 19,967 トン、3 位のノルウェーは金額が同 50.2%減の 7,432 万ドル、数量が同 55.8%減の 13,993 トンであった。日本は 6 位で、金額が同 100.9%増の 1,162 万ドル、数量が同 101%増 4,510 トンであった。

▼表2：中国のタラ輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ロシア	327,398,485	101,152	501,909,408	112,487	363,754,929	97,644	△ 27.5	△ 13.2
米国	46,994,707	16,458	63,259,962	15,271	81,283,056	19,967	28.5	30.8
ノルウェー	94,205,602	23,506	149,339,617	31,634	74,324,268	13,993	△ 50.2	△ 55.8
ニュージーランド	36,991,345	18,141	56,862,773	24,733	47,998,734	20,750	△ 15.6	△ 16.1
グリーンランド	24,645,991	6,736	26,636,545	5,523	21,128,411	5,118	△ 20.7	△ 7.3
日本（6位）	2,534,654	2,275	5,787,968	2,244	11,627,956	4,510	100.9	101.0
全世界	593,204,227	213,375	865,811,588	229,722	632,735,739	186,335	△ 26.9	△ 18.9

注：対象はHSコード 0302.51, 0302.54, 0302.56, 0303.63, 0303.66, 0303.68, 0303.69, 0304.71, 0304.74, 0304.79, 0304.95

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

●ベトナム

2023 年、ベトナムのタラ類の輸入額は、前年比 12.3%減の 5,362 万ドル、数量ベースでは同 9.6%減の 1 万 1,625 トンとなった。主要相手国・地域別にみると、1 位のロシアは金額が同 44.3%減の 2,537 万ドル、数量が同 42.0%減の 5,340 トンであった。2 位はノルウェーで、金額が同 194.5%増の 2,084 万ドル、数量が 179.8%増の 4,065 トン、3 位の日本

は金額が同 237.6%増の 231 万ドル、数量が同 137.9%増の 809 トンとなった。

▼表3：ベトナムのタラ輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ロシア	14,178,440	4,254	45,599,948	9,206	25,378,219	5,340	△ 44.3	△ 42.0
ノルウェー	636,806	175	7,077,824	1,453	20,841,021	4,065	194.5	179.8
日本	595,368	309	684,556	340	2,310,867	809	237.6	137.9
オーストラリア	1,939,385	625	2,257,869	726	1,459,544	449	△ 35.4	△ 38.2
米国	2,268,866	545	1,902,384	275	1,155,608	312	△ 39.3	13.5
全世界	28,111,579	7,684	61,148,367	12,862	53,622,593	11,625	△ 12.3	△ 9.6

注：対象はHSコード 0302.51, 0302.54, 0302.56, 0303.63, 0303.66, 0303.68, 0303.69, 0304.71, 0304.74, 0304.79, 0304.95

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

・ [ヒアリング調査資料：「ベトナムにおけるホタテ加工の現状とベトナム水産加工事業者について」\(2025 年 3 月\) | 調査レポート - 国・地域別に見る - ジェトロ](#)

●インドネシア

2023 年、インドネシアのタラ類の輸入額は、前年比 36.3%減の 3,871 万ドル、数量ベースでは同 27.2%減の 8,925 トンとなった。主要相手国・地域別にみると、1 位のロシアは金額が同 53.2%減の 2,370 万ドル、数量が同 48.3%減の 5,298 トンであった。2 位の米国は金額が同 45.4%増の 624 万ドル、数量が 95.5%増の 1,296 トンであった。

日本は 6 位で、金額が同 108.8%増の 66 万ドル、数量が同 73.2%増の 213 トンとなった。

▼表4：インドネシアのタラ輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
ロシア	19,738,607	5,551	50,637,293	10,257	23,703,238	5,298	△ 53.2	△ 48.3
米国	229,799	29	4,288,585	663	6,235,253	1,296	45.4	95.5
ノルウェー	15,685	3	935,287	186	3,650,062	693	290.3	272.6
ニュージーランド	—	—	—	—	2,049,258	907	—	—
オランダ	—	—	3,182,554	616	1,444,737	280	△ 54.6	△ 54.5
日本 (6位)	1,664	0	318,082	123	664,188	213	108.8	73.2
全世界	20,146,665	5,658	60,799,271	12,260	38,707,059	8,925	△ 36.3	△ 27.2

注：対象はHSコード 0302.51, 0302.54, 0302.56, 0303.63, 0303.66, 0303.68, 0303.69, 0304.71, 0304.74, 0304.79, 0304.95

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

●その他

・ [アフリカの食品・飲料市場調査\(ナイジェリア編\)\(2023 年 2 月\) | 調査レポート - 国・地域別に見る - ジェトロ](#)

冷凍ブルーホワイティング（タラ的一种）を多く輸入している。

・ [米国への農林水産物・食品の輸出に関するカントリーレポート\(水産物\)\(2024 年 3 月発\)](#)

[行、2025 年 3 月更新](#)） | [調査レポート - 国・地域別に見る - ジェトロ](#)

ティラピア、スケトウダラ、パンガシウス/パサ、タラ、ナマズなどの白身魚も人気。

・[シンガポールへの農林水産物・食品の輸出に関するカントリーレポート（水産物）](#) | [調査レポート - 国・地域別に見る - ジェトロ](#)（2024 年 3 月）

・[EU（フランス）への農林水産物・食品の輸出に関するカントリーレポート（水産物）](#) | [調査レポート - 国・地域別に見る - ジェトロ](#)（2024 年 3 月）

そのほか、[水産物・水産加工品輸出拡大協議会「海外マーケット調査資料」](#)にて、諸外国における日本産水産物のマーケット調査等の資料を公開している。

ジェトロ特設ページ「[ALPS 処理水の処分に伴う輸出等の対策に関する特別相談窓口および各国・地域の動向について](#)」では、各国・地域の動向について幅広い情報提供を行っている。

ジェトロ「[現地市場価格調査](#)」では、タラの主要都市における市場価格をまとめている。

タラを含む水産物の輸入規制、輸入手続きに関して、[ジェトロのポータル](#)にて、香港、台湾、韓国、中国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、フィリピン、インド、ミャンマー、UAE、サウジアラビア、米国、カナダ、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、EU、英国、ロシアをまとめている。

本レポートに関する問い合わせ先：

日本貿易振興機構（ジェトロ）

農林水産食品部 市場開拓課 調査チーム

〒107-6006

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル

TEL：03-3582-5186

【免責事項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できる限り正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。